

1. 件名：福島第一原子力発電所における環境線量低減対策に係る面談

2. 日時：令和元年11月26日（火）13：35～14：40

3. 場所：原子力規制庁9階会議室

4. 出席者：

原子力規制庁

原子力規制部

東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

澁谷企画調査官、宇野課長補佐、高松係員、長崎技術参与

東京電力ホールディングス株式会社

福島第一廃炉推進カンパニー プロジェクト計画部 放射線・環境グループ

担当3名

5. 要旨：

- 東京電力ホールディングス株式会社より、福島第一原子力発電所における環境線量低減対策について、資料に基づき主に以下の報告があった。
 - タービン建屋東側における地下水濃度について
 - ✓ 台風の影響により観測点によって一時的な変動があるものの、全体的には大きな変化はなかったこと。
 - 排水路の濃度について
 - ✓ 台風の影響により一時的な変動があるものの、横ばい傾向であること。
 - 原子炉建屋からの追加的放出量の評価結果の変更について
 - ✓ 放出量評価値（ベクレル／時）から被ばく線量（マイクロシーベルト／年）の表記に変更すること。
 - ✓ 別紙を一覧表形式に変更すること。
 - ✓ 5. 6号機の寄与を一律加算から、測定結果を元にした被ばく線量を評価する方法に変更すること。
- 原子力規制庁は、上記の内容を確認した。

6. その他

資料：

- 環境線量低減対策スケジュール
- タービン建屋東側における地下水及び海水中の放射性物質濃度の状況について
- 「1～4号機原子炉建屋からの追加的放出量の評価結果」の変更について
- 1～4号機原子炉建屋からの追加的放出量の評価結果（2019年10月）
- 1～4号機原子炉建屋からの追加的放出量評価結果 2019年10月評価分（詳細データ）
- 原子炉建屋からの追加的放出量の評価結果（2019年10月）

別紙 1～4号機原子炉建屋からの追加的放出量評価結果 2019年10月評価分（詳細データ）